

平成26年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書

(平成25年度事業対象)

平成26年12月

能美市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、平成 25 年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター教授浅野秀重氏にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めていきます。

平成 26 年 12 月

能美市教育委員会

目 次

1 事務の点検評価

施策1 学校教育の充実

- 1 教職員の資質並びに授業力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 豊かな心、確かな学力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 教育支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4 教育環境の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

施策2 青少年の健全育成

- 1 青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

施策3 生涯学習の推進

- 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進 10
- 2 生涯学習活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 3 公民館活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 4 社会教育施設の運営・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

施策4 芸術・文化の振興

- 1 文化財の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 2 博物館の活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 3 文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

施策5 生涯スポーツの推進

- 1 競技スポーツの充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- 2 生涯スポーツの普及・振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- 3 スポーツ施設の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

- (1) 教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (2) 教育委員の主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (3) 平成25年度教育委員会会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

施策1 学校教育の充実

地域に根ざした学校づくり，次世代を切り拓く人材の育成を目指して，豊かな心，確かな学力，健やかな体をバランスよく育む学校教育活動が展開できる教育環境づくりを推進します。学習指導要領に基づき，活用力を培う授業づくり，活きた道徳・特別活動の充実，体罰・いじめを許さない活気あふれる組織づくりを目指します。

1 教職員の資質並びに授業力の向上

平成25年度の主な取組

◇小学校指導書等整備事業（1,431千円）

学習指導要領改訂を機とし，教職員の授業力向上をめざし，小学校の理科と社会のデジタル教科書を整備しました。

評価

・デジタル教科書の導入は，デジタルテレビやモバイルパソコンなどの機器の有効活用につながり，児童の興味関心，意欲を高めました。

○意見

平成23年度に小学校教師用指導書の整備に続き，24年度に中学校教師の指導書の整備，そして平成25年度は，小学校の理科及び社会のデジタル教科書を整備されたことは，教育活動に従事する教員の負担の軽減や市内中学校の教育実践の一体的推進に資するものです。教育課程の改訂にあわせながら，今後とも，計画的，漸次的なデジタル教科書の整備に取り組まれるよう願っています。

◇教科研修員派遣事業（188千円）

教育フォーラムを機に立ち上げた事業で，4年目となります。

*目的 教科等（道徳等を含む）の専門性を高め，優れた授業実践力を身に付けた教員を養成する。

*研修期間 1週間

*資格 能美市内小中学校勤務教諭（中堅層）で校長が推薦し，教育長が認めたものとする。 ※年間2名

*役割 「（能美市）教科研修生」として先進校の授業実践に学び，
・在籍校で率先して授業を公開するなど，校内，市内の授業力向上に資する。
・市内近隣校からの要請に応じ，研修会への参加を通して授業力向上に資する。
・市教育委員会からの要請に応じ市内の授業力向上に資する。

*実績 平成22年度（筑波大学附属小学校2名：国語・算数）

平成 23 年度（筑波大学附属小学校 1 名：算数・上越市立大和
小学校 1 名：I C T 教育）

平成 24 年度（筑波大学附属小学校 2 名：算数）

平成 25 年度（筑波大学附属小学校 2 名：算数・道徳）

評価

・授業研修の先進校である筑波大学附属小学校に、能美市内の 2 名の教員を派遣することができました。研修を終えた教員には、自校の職員に研修の成果を還元することはもちろん、能美市の研修会で、講師を担い広く市内の教員にも研修内容を広げていきます。

・8 月の夏季教職員研修会では研修講座を開設して市内の教職員への発信し、能美市全体の指導力向上につなげています。

○意見

平成 24 年度から継続して行われている筑波大学附属小学校への教員研修派遣は、望ましいことと思われます。先進的な授業事例に関する情報収集は、絶えず研究と修養に努めることが教員に求められていることから、積極的に奨励されなければなりません。

また、代表として中央研修等に派遣された教員が、その学びの成果を他の教員と共有しながら全体として市の教育活動の水準の向上に生かすこととなる営みも貴重なものと思います。そのことが市内の教員の全体的な力量の向上に寄与するものとなるからです。

なお、中学校教員の派遣についてもご検討いただければ、と考えます。

2 豊かな心、確かな学力の向上 豊かな心・確かな学力（豊かな学力）

平成 25 年度の主な取組

◇視聴覚機器等活用推進事業（6,795 千円）

視聴覚機器等を教具として積極的に活用し、授業改善、授業力の向上を図ります。計画的に市内全小中学校を視聴覚機器等活用推進モデル校（以下、推進モデル校）に指定し、研究実践します。また推進モデル校は公開発表の機会を通して研究実践を市内に発信し、活用実践力の向上を図ります。

* 推進モデル校 平成 22 年度：浜小・宮竹小・寺井中

平成 23 年度：寺井小・粟生小・和気小・根上中・辰口中

平成 24 年度：福岡小・湯野小・辰口中央小

平成 25 年度：粟生小・寺井小・辰口中

* 教科用ソフト「学習探検ナビ（マナビー）」の配備

・小学校（国語、算数、社会、理科、生活、体育、図工）

・中学校（国語、数学、社会、理科、英語、技術家庭、保健体育）

* I C T 外部サポーター（教育ソフトサポート業務）の配置

- ・役割 授業・教員研修・校務における I C T 支援
- ・推進モデル校 3 校 月 3 回 その他の学校 月 2 回

* H25 年度に新規に配備した視聴覚機器

- ・モバイルパソコン 23 台
- ・実物投影機 40 台

* 研究実践概要

- ・実物投影機等の効果的な活用方法を探り、授業改善を図ります。
- ・モバイルパソコンを使ってデジタル教科書の活用がすすみました。
- ・外部講師を招聘して視聴覚機器等の効果的な活用法について積極的に研修し、授業実践力を高めます。

* 能美市公開研究授業の機会に ICT を活用

- ・25/10/7 NOMI りんぐ 和気小、湯野小、根上中
- ・26/1/23 NOMI ばんぶー 浜小、栗生小、辰口中

* 能美市内教職員アンケート結果より抜粋

() は昨年度

- ・「授業で I C T を使っていますか。」・・・67% (62%)
- ・「I C T 活用が児童生徒の学習への意欲や関心を高めていると感じていますか。」・・・97% (92%)
- ・「I C T 活用が授業の改善につながっていると感じますか。」・・・88% (79%)

評価

- ・ I C T 外部サポーターの配置や、 I C T 機器の導入は、学校のニーズも高く、ハード面の体制も整ってきているため、今後も配備をすすめていきたい。
- ・「視聴覚機器等活用推進モデル校」における公開授業発表を以て市内教職員に発信してきた。「まずは使ってみる」という第 1 段階を経て、今ではハード面、ソフト面からの学校からのニーズも多い。 I C T を活用する授業実践力を更に向上させ、みんなが「わかる」「できる」授業へとさらなる指導力向上につなげたい。平成 25 年度に、第 54 回石川県視聴覚教育研究大会能美大会が開催され、この機を捉えて I C T 機器を使った授業の発信を行い、実践力の向上を図っていくことができました。
- ・ I C T 機器の活用におけるハード面、ソフト面、リテラシー面が三位一体することで、さらに、児童生徒の学習意欲の向上、授業の工夫や改善につなげ、学力向上につなげていきたい。

○意見

教員が I C T 機器を効果的に活用することは、児童・生徒にとって、授業の中身が「よくわかる」、「はっきりわかる」ことを明確化する効果があるものと思われます。 I C T 活用に対する教員の認知度が徐々に高まっていることもこれまでの努力の反映と思われる

ます。

今後とも、ICTのC(コミュニケーション能力)の向上にも十分な心配りに努めながら、自己評価欄に記載のとおり、児童・生徒の学習意欲の向上、授業方法の改善に努め、児童生徒の全体的な「豊かな学力」の形成、豊かな心の育成にも尽力くださることを願っています。

◇心の教育（人間関係力）推進事業（2,689千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を各学校での重要な領域と位置づけ、すべての教育活動をトータルに進めていくことが大切であると考えます。

昨今、一人ひとりの心のあり様や価値観、人間関係づくり（人間関係力）の稚拙さなどに起因して、いじめ、不登校などの教育問題に加え、規範意識やモラルの低下、自殺、殺人、虐待などが教育問題の範疇を越えた大きな社会問題となっています。より良い学校生活と友達づくりのためのQ-Uアンケートを小学校4年生から中学校3年生までの全員に実施し、子ども一人ひとりの成長とすべての教育活動の要としての「学級づくり」に有効に活用し、心の教育のさらなる充実を図っていききたい。

*目的 一人ひとりの内面をつかむためにアンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。

*対象学年 小学校4年生～中学校3年生全員

*実施回数 年間2回（6月・11月）

*実績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

平成23年度 6月実施：38%→11月実施：54%

平成24年度 6月実施：52%→11月実施：61%

平成25年度 6月実施：55%→11月実施：64%

評価

・Q-Uアンケートの実施により、これまで以上に人間関係づくりを大切にした学級経営意識を高くもち、いじめ、不登校等の未然防止にもつながっています。一人ひとりの児童生徒をきめ細かく理解することで、本人、保護者との信頼関係が醸成され、すべての子どもが楽しく意欲的に学校生活を送れることを大事にしています。

・導入3年目となり、Q-Uアンケートに関する校内研修会も定着しています。教職員が、Q-Uアンケートの意義をしっかりと理解し、学級づくりに活用していくためのスキルアップを図ることができました。

・各学校では、Q-U調査の結果を学級担任のみならず、学校全体で共有し、一人ひとりの把握に努めています。学級作り・人間関係づくりの手立てとしての活用は勿論、さらに、きめ細かく分析し、いじめ、不登校等の未然防止・早期発見に確実につなげていきたい。

○意見

Q-Uアンケートの実施が、自己評価記載のように「一人ひとりの児童生徒をきめ細かく理解すること」になり、「保護者との信頼関係の醸成」、子どもたちの「楽しく意欲的な学校生活」の推進につながり、ひいてはそれが、いじめ、不登校等の未然防止にもつながっているのであれば、アンケートの実施は、子どもたち自身が「自己を見つめ直す」きっかけになっているものと申しても過言ではないでしょう。

豊かな人間関係の形成が、職場や地域社会で多様な人と仕事をしていくための基礎的な力となり、それらは、社会人基礎力としての「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の形成にも資すると思われます。能美市が推進する「人間関係力」事業は、「社会人基礎力」の考えと軌を一にするものと思われ、児童・生徒の時期にその基盤を培うものと思います。

3 教育支援の充実

平成 25 年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（24,973 千円）

平成 25 年 10 月時点での能美市内の小中学校からの報告によれば、学習障害LD、注意欠陥・多動性障害ADHD、高機能自閉症HFAなど、いわゆる発達障害の児童・生徒、またはその疑いがある児童・生徒数は合計で 143 名です。この児童・生徒を含めて、学校で特別な支援が必要な児童・生徒数は全体で 262 名と報告されており、市内小中学生全体の 5.1%（文科省：全国では6%）にあたります。

この割合は年々増加傾向を示しており、その支援体制の充実が急務です。

* 配置人員	平成 22 年度	小学校 11 名、中学校 2 名	計 13 名
	平成 23 年度	小学校 14 名、中学校 2 名	計 16 名
	平成 24 年度	小学校 16 名、中学校 3 名	計 19 名
	平成 25 年度	小学校 19 名、中学校 3 名	計 22 名

評価

- ・ 発達障害を含め通常教室の中で特別な支援が必要な児童・生徒は年々増えており、特別支援教育支援員を増員することによって、学級づくりの充実、個に応じた支援体制の充実、安全安心の学校づくりが期待できます。低学年から中学年では学級に 2～3 名はいるのが現状です。浜小・寺井小・辰口中央小などの大規模校では、支援員の人数を 4 名配置することができました。特別支援教育支援員の増員により、学校全体の支援体制の充実につなげることができました。
- ・ 支援が必要な児童・生徒の増加に加え、大量退職時代に伴う新規採用教職員も年々増加してきており、経験が浅い故に特別な支援が必要な児童生徒への行き届いた対応に課題がある場合も多い。きめ細かな指導と学力保障をしていくうえでも、支援員の増員とともに、資質の向上と支援内容の充実を図っていきたい。

○意見

学級担任は、クラス全体を対象にしているときも一人ひとりの子どもを忘れず、一人ひとりの子どもを相手にしているときも、クラス全体を忘れないこと、といわれることがあります。特別な支援を必要とする児童・生徒に、担任教員だけが向き合うという体制ではなく、特別支援教育支援員の増強を図るなど、予算上の課題や人員確保などの点で一朝一夕にという打開策はなかなか見出しえない状況かとは思いますが、国連で採択された「児童の権利条約」、「障害者の権利条約」の理念に叶うものです。今後とも鋭意その拡充に努められますようお願いしています。

教育活動の水準の維持・向上のために、経験豊かな退職教員の協力を仰いだり、実践経験の少ない教員に対する研修の在り方を検討するなどの施策の推進がさらに求められているように思われます。

4 教育環境の整備充実

平成 25 年度の主な取組

◇浜小学校施設整備事業 (トイレ改修, 小荷物専用昇降機改修)	3, 537 千円
◇福岡小学校施設整備事業 (遊具改修)	185 千円
◇寺井小学校施設整備事業 (遊具改修)	497 千円
◇寺井小学校大規模改造事業 (建築, 機械設備, 電気設備)	157, 218 千円
◇湯野小学校施設整備事業 (体育館照明灯具取替, 体育館柵設置)	1, 465 千円
◇粟生小学校施設整備事業 (小荷物専用昇降機改修, プールサイド改修)	3, 103 千円
◇辰口中央小学校施設整備事業 (遊具改修, トイレ改修, 地質調査)	3, 891 千円
◇辰口中央小学校防音空調整備事業 (機械設備, 電気設備, 建築)	94, 117 千円
◇宮竹小学校施設整備事業 (地下タンク改修, トイレ改修)	3, 730 千円
◇宮竹小学校空調施設整備事業 (機械設備, 電気設備)	30, 009 千円
◇和気小学校施設整備事業 (黒板補修, 体育館屋根改修, 遊具改修)	2, 226 千円
◇和気小学校空調施設整備事業	1, 260 千円

(設計)

◇根上中学校施設整備事業 (給食室排気設備改修, 消防設備改修)	1, 553 千円
◇寺井中学校施設整備事業 (屋内消火栓配管漏水改修, 階段手摺設置)	3, 015 千円
◇辰口中学校施設整備事業 (法面改修工事設計)	1, 488 千円

評価

・市内全小中学校の冷暖房整備率 100%を目指して、辰口中央小学校 (I 期工事)、宮竹小学校の 2 校の工事および和気小学校の設計業務を実施しました。これにより冷暖房整備率は 81.8%となり、未整備校は 2 校となりました。平成 26 年度は残る 2 校の工事を実施し、冷暖房整備率 100%達成を目指します。

・老朽化が進んでいた寺井小学校の大規模改造工事の I 期工事が完了しました。特に洋式トイレの割合増加や温水洗浄便座トイレの導入、照明機器の増設等、ニーズに応じた整備を実施しました。平成 26 年度の II 期工事では、多目的トイレの新設、中庭の整備等を実施し、教育環境の向上を図ります。

○意見

学校は、児童・生徒が一日の大半を過ごす「学び、生活の場」としての「公の施設」であり、ましてや、通常備えるべき安全性を欠いた状態たる「瑕疵」があってはなりません。

学校施設の整備は、児童・生徒の最善の利益を前提にして行われる必要があると思われれます。

また、教育環境の整備は、あえていえば、教育の物的環境の整備という面がないわけではありませんが、物的環境の整備は、同時に教育活動という教育の内的・質的活動に影響を与えるものでもあることから、教育環境の整備は、不断に取り組むことが求められます。さらに、地域の災害等の非常時には、地域住民のための「避難所」、「生活の拠点」となる場合もあり、空調整備、多目的トイレ等の整備に可能な限り取り組まれますよう期待いたします。

施策 2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

1 青少年教育

平成 25 年度の主な取組

◇青少年健全育成事業（443 千円）

- ・ 各種会議
 - ◇ 青少年問題協議会の開催
 - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
 - ◇ 夏休み期間中及び九谷茶碗まつり，七夕まつり，辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
 - ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集
471作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（9名）】
最優秀賞作品については看板を作成し，各小学校に掲示

◇心の教育関連事業（1, 120 千円）

- ・ 家庭教育推進事業
 - ◇ 「親子のふれあい」や「青少年の豊かな心を育む家庭教育のあり方」をテーマに取り組んだ計 44 団体(保育園，小中学校，子育て支援センター)に対して活動補助
- ・ 地域教育推進事業
 - ◇ 子どもたちを核に「地域のふれあい」や「青少年の健全育成」をテーマに，1 年を通して取り組んだ市内 5 団体に対して活動補助
- ・ ふれあいいいさつデー
 - ◇ 毎月 15 日を「あいさつデー」とし，各町で公民館，学校 P T A を中心に実施
 - ◇ 9 月 2 日(月)～6 日(金)を強化週間として平日 5 日間に開催（延べ約 2, 600 人が街頭に立つ）
 - ◇ あいさつデー啓発ポスターは根上中学校 3 年生興梶留衣さんの作品を採用
- ・ 野外体験
 - ◇ 子どもたちのたくましい豊かな心とからだを育てることを目的とした，冒険企画「ぼくもわたしもトムソーヤ！2013」を開催しました。当事業は、のみ♡子育てネットワークと児童・子育て専門部会が共同で実施し，内容としては，イワナつかみや陶板焼き，キャンプファイヤーなどを通して，野外で活動できる力を身につけるものです。
事業終了後，保護者と子ども達にアンケートを実施し，下記の通り参加して良かったとのお声をいただきました。一方で，「晴天と雨天の企画の差が大きい」，「雨でも晴れに負けないようなプログラムがあるといい」など次回につながる課題も見つかりました。

感想

- ・スタッフの方々のすごいチームワークで、初対面の集まりにも関わらず、楽しく過ごすことができました。感謝，感謝。
- ・2日間大変お世話になりました。初めての雨日程でしたが、とても楽しく過ごせました。
- ・あいにくの天気でしたが、親子共々良い体験ができました。スタッフの皆様ありがとうございました。
- ・子どもと一緒に行動することがなく、心配でしたが子ども同士で何でもこなしている姿を見て、成長していることを実感しました。天気が悪くて残念でした。
- ・いろいろと手伝いさせてもらえて良かった。子どもと別々に行動でき、いつも父に甘えている子が少しくましくなったような気がします。
- ・雨天に対応する企画が疑問。晴天ありきでは差が大きい。
- ・この企画を通して普段出来ない体験ができ、違う町や学校の子と仲良くなれたので、とてもいい思い出になりました。
- ・名簿の名前はひらがなにしたいほうがいい（子どもが漢字を読めない）

など

評価

- ・毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって小・中学生の規範意識を高めています。15日以外にも、自主的にあいさつ運動を実施している町会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識が醸成されてきています。
- ・能美市のお祭り（根上七夕まつり，九谷茶碗まつり，辰口まつり）と子どもたちの夏休み期間中に、パトロールを実施しています。実施中声かけを行うケースは、稀にある程度なので、今後は時間帯の変更や、人数の再構成を検討する必要があります。
- ・能美市内の親子47組127名（スタッフ含む）を対象に、1泊2日の宿泊研修を実施しました。アンケートの結果からうかがえる通り、親子ともに成長できる非常に貴重な体験になりました。企画や事務などに若干の反省がありましたので、次年度は反省点を踏まえ改善する必要があります。

○意見

次代を担う青少年を非行から守り、健全な方向へと育成することは、先行する世代たる大人の役割です。能美市では、毎月15日を「ふれあいあいさつデー」として設定し、あいさつが、家庭の中だけでなく、地域においても交わされるような取り組みは、明るい社会、活力ある魅力的なふるさとづくりの契機となるものであり、地域の子どもの地域総ぐるみで育てる活動とすることができます。

あいさつ運動を一つの契機にしながら、地域ぐるみで「地域の子どもを育てる」活動のさらなる広がりを期待いたします。

野外体験活動である「ぼくもわたしもトムソーヤ！2013」事業は、その企画、運営、実施、事後指導などの面において様々な工夫が求められる事業と思われます。主として冒険的側面を重視した体験活動ですが、事業全体を安全に遂行することはもちろんですが、参加者から寄せられたアンケートを見ても、繰り返されることのない貴重な経験、非日常的な活動から様々な学びの機会であったことをうかがい知ることができます。

「雨天時の対応に工夫を」とのコメントもありますが、事業のPDCAに心がけ、次年度以降の企画に、改善を要する事柄を反映した事業として実施されるよう願っています。

施策3 生涯学習の推進

市民一人ひとりの生きがいや心の豊かさを実現するため、学習環境づくりや公民館活動などを核とした連帯と活力ある地域づくりを推進します。

1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進

平成25年度の主な取組

◇国際交流員招致事業（4, 147 千円）

国際交流員を招致し、国際理解や多文化共生社会の推進に努めました。

◇国際交流推進事業（1, 768 千円）

・国際交流イベントの開催

市内小学生を対象にハロウィン、イースターを体験するイベントを実施。海外の文化を体験する機会を設けました。

・外国語講座、日本語講座の開催

国際交流に必要とされるコミュニケーション能力をつける外国語講座として、国際交流員による英会話初級、ENGLISH ONLY CLASS、中国語講座初級、国際交流サロンを開催しました。

市内在住・在勤の外国人を対象に日本語講座を開講しています。

また、日本語教室の講師不足により、平成25・26年度にわたり日本語教室講師養成講座を計50回開講しています。

・ジャパンテント

世界様々な国と地域から石川県を訪れた300人の留学生と県民との交流を深める

「第26回JAPAN TENTー世界留学生交流・いしかわ2013」が開催されました。

本市では17ホストファミリーが24名の留学生を3泊4日の日程で受け入れました。

九谷焼作陶体験，ゆず大学受講，辰口まつりのじょんから踊りコンクール参加等“能美市ならではの”のおもてなしで留学生をもてなしました。

・ボランティア通訳

外国人市民の生活を支援することを目的として「能美市ボランティア通訳登録制度」を実施。4言語・22人の登録があり，市内学校や市役所窓口へ派遣しました。

◇関連団体交流活動等支援（380千円）

市内の国際交流活動を行う5団体（ねあがりクライダスコープ，石川県白山ユネスコクラブ，能美市日中友好協会，Nomi国際交流協会，人道の船 陽明丸顕彰会）に対し，活動補助金を交付しています。

評価

・国際交流員が中心となり，市民が国際交流員の出身国の文化を学んだり，国際交流に必要なコミュニケーションツールとして英語を学ぶ機会を創出し，国際理解推進の機会を整えています。

・日本語教室は市内全域で外国人住民に日本語を学ぶ機会を創出していますが，講師不足という問題が発生しています。そこで，平成25年度26年度の2カ年にわたり日本語教室講師養成講座を開講し，新たな講師養成に取り組んでいます。

・言葉が通じないことで発生している，市内外国人の生活の不便を解消するために，平成25年度「能美市ボランティア通訳登録制度」を制定。学校での個人面談や市役所窓口での手続きなどに利用があります。また，登録者にとっても能力を発揮できる機会を提供しています。

○意見

地球的視野で考え，身近なところから取り組もうという，think globally, act locallyという言葉がありますが，今日，国際化への対応は，待ったなしという状況です。

すでに国際交流員の招致，外国語教室，日本語教室講師養成講座などの事業に取り組まれながら，市民や子どもたちに海外の文化に触れる機会を提供しているところですが，市民に限らず，外国人住民相互にさらなる交流が深まるよう期待し，より一層多文化理解，多文化共生に資するよう期待します。

2 生涯学習活動

平成25年度の主な取組

◇まなびフェスタ2014（786千円）

「広がれ つながれ 人の和 能美の輪」をスローガンに，6分科会に分かれてテーマ

ごとに意見交換を行いました。また、文化活動を気軽に体験し、生涯学習への一層の興味、関心を持っていただくため、6つのお試し体験講座を行いました。

No.1 分科会

「やってみよう！今ウワサの体幹エクササイズ」
～いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも～

No.2 分科会

「パパと一緒に作る バルーン教室」
～親子で楽しむバルーンアート～

No.3 分科会

「新美南吉 よもやま話」
～南吉童話の魅力を語る～

No.4 分科会

「インドネシアの文化と遊び」
～親子でインドネシアの遊びを楽しもう～

No.5 分科会

「今から出来る！「自分年金」の上手な作り方」

No.6 分科会

「未来につながる「環境」」
～出来る事からはじめよう！～

No.7 お試し体験講座

「ソーシャル・ライフ英会話」
～ネイティブ・スピーカーならこう言う！～

No.8 お試し体験講座

「中国語講座」
～中国語のクイズやゲームを楽しもう～

No.9 お試し体験講座

「古代の暮らしを体験してみよう！」
～体験を通して歴史を学ぼう～

No.10 お試し体験講座

「初めて学ぶ人のための武術太極拳（入門編）」
～ゆるやかな8つの基本的動きをムリなく体験～

No.11 お試し体験講座

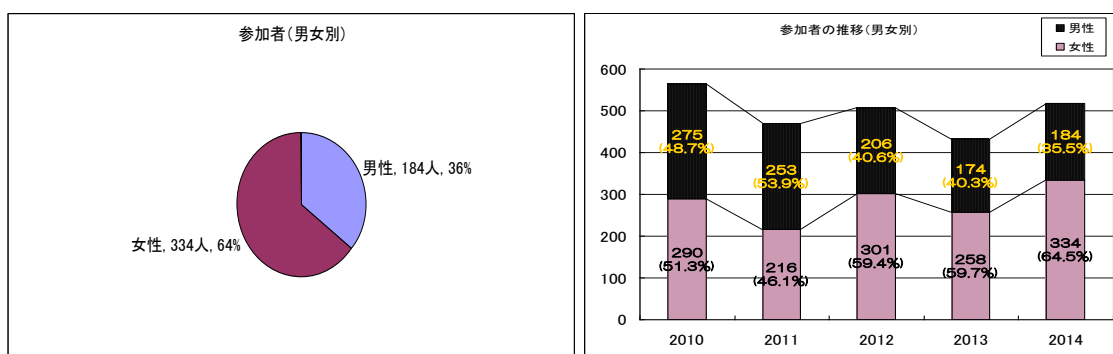
「マクラメ体験」
～古いもの新しい作品に～

No.12 お試し体験講座

「簡単布花体験」
～コサージュ、花束、それとも何にする？～

参加者アンケートから

- ・ 子ども達の精神的な成長と幸福な人生につながるとも大事なイベントだと思います。親として、とても嬉しいです。
このようなプログラムにとっても満足し、楽しませてもらっています。
- ・ 生きがいとしてイベントに参加することはとても楽しい。
読書の領域をぜひ続けていきたい。
- ・ 本当に楽しかったです。時間があっという間に過ぎました。
- ・ 興味のあることがいくつかあるので、時間や日がずれているといいなと思いました。
- ・ まなびたい人の多さにこれまでの私を反省しました。
- ・ 若い人たちも関心のある人達が多いので、ちょっと安心しました。
- ・ 他の講座も体験してみたかったので、前半・後半で2つぐらい参加できると嬉しいです。



評価

・ どの会も年齢制限は無く、お子さんからご年配者までご参加いただきました。どれも市民による手作りの会で身近な内容で、何事も最初の一步から始まります。市民と行政が対等の立場で互いの役割を果たしながら目標に向けて連携し、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。「まなびフェスタ」では、市民が話し合い、体験する機会を創出し、市民のまちづくり意識を高め、「協働型まちづくり」の推進を目指しています。

○意見

まなびフェスタは、地域住民の「学び」をメインにした交流の機会であるとともに、日々の学習の成果の発表の機会でもあります。昨年度、開催日時や場所などを記載されるよう求めましたが、今年度も記載はありませんでした。

それはともかく、多くの市民が、「昨日と違う今日の自分、今日と違う明日の自分づくりへの営み」としての学びの意義を、自らあるいは仲間とともに確認し合う機会となるものと思います。どのようなテーマの分科会を設定するか、腐心されることと思いますが、質の高まりと深まりを期待いたします。

能美市は、東西にひろがった特徴を持つので、開催会場を変えて開催するというこ

も参加者層の拡大や雰囲気の変化の一助となるかもしれません。

3 公民館活動の推進

平成 25 年度の主な取組

◇成人式(1, 386 千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開催日 平成 26 年 1 月 12 日 (日)

会場・時間 根上総合文化会館 11 時開式

寺井地区公民館 10 時 30 分開式

辰口福祉会館 10 時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	71 人	105 人	67.6%
	女	63 人	87 人	72.4%
寺井	男	78 人	88 人	88.6%
	女	78 人	92 人	84.8%
辰口	男	70 人	102 人	68.6%
	女	60 人	83 人	72.3%
計	男	219 人	295 人	74.2%
	女	201 人	262 人	76.7%

◇立志式 (198 千円)

中学 2 年生を対象に、自ら将来に臨んで志を立て、次代の社会を担うものとしての誇りと自覚、さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に持たせるため、実施しました。平成 25 年度も 3 中学校同時に開催しました。

○式典

日時：平成 26 年 2 月 14 日 (金) 14 : 00 ~

会場：根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

参加人数：根上地区 186 名

寺井地区 208 名

辰口地区 153 名 計 547 名

○記念講演

講師：河村 好光 氏 (石川考古学研究会代表幹事)

演 台：「ふるさとに誇りを ～能美古墳群とともに～」

◇総合文化祭（1, 102 千円）

〈展示部門〉

日 程 11月2日（土）～11月4日（祝・月）

会 場 根上総合文化会館，根上学習センター，寺井地区公民館，寺井図書館，辰口福祉会館

内 容 絵画，水墨画，書道，生け花などの市文化協会作品をはじめ，各地区公民館，コミュニティーセンター，児童館，そのほか各教室，サークル，一般市民の作品を展示しました。

〈発表部門〉

○ジュニア文化発表会

日 程 10月28日（月）

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内小・中学校の児童・生徒が元気いっぱい合唱や演奏を披露しました。

○市民文化・芸能大会

日 程 11月9日（土）

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内の自治公民館及び市内で活躍しているサークル・団体がこの日のために練習してきた出し物を披露しました。

◇公民館活動（17, 077 千円）

○自治公民館

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月16日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
3月1日	能美市自治公民館協議会 総会	寺井地区公民館
3月14日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
7月13日	能美市自治公民館協議会 視察研修会	愛知県犬山市
9月2日～6日	ふれあいあいさつデー（強化週間）	市内一円
9月12日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
11月9日	第9回能美市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
11月29日	能美市自治公民館協議会 視察研修会	自衛隊小松基地

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月24日	根上地区自治公民館協議会 総会	八松苑
4月23日	根上地区自治公民館協議会 館長会	根上商工福祉会館
5月26日	第9回スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
6月1日～9日	花いっぱい運動	根上地区
6月3日	根上地区自治公民館協議会 館長会	根上総合文化会館
6月29日	根上地区自治公民館協議会 視察研修会	輪島市, 志賀町
7月27日	根上七夕まつり「踊りの夕べ」コンクール	根上総合文化会館 駐車場周辺
8月19日	根上地区自治公民館協議会 館長会「出前講座」	根上総合文化会館
11月9日	第9回能美市民・文化芸能大会	根上総合文化会館
12月12日	根上地区自治公民館協議会 館長会	北野肉店

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月8日	寺井地区自治公民館協議会 総会	クアハウス九谷
6月16日	寺井地区さわやかグラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
6月22日	寺井地区自治公民館協議会 視察研修会	能登町 春蘭の里
7月14日	寺井地区クリーンデー	寺井地区町内一円
8月29日	寺井地区自治公民館長・体育部長会	寺井地区公民館
10月6日	第9回 スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月27日	第9回寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区各町内一周
10月27日	第9回寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
12月7日	寺井地区自治公民館協議会 館長会	福喜寿司 (大成町)

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月6日	辰口地区自治公民館館長会 総会	辰口福祉会館
5月29日	辰口地区公民館事業推進委員会	辰口福祉会館
7月13日	辰口地区自治公民館館長会 視察研修会	滋賀県蒲生郡日野町及 び東近江市周辺
10月6日	第9回スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
12月7日	辰口地区自治公民館館長会 秋季研修会	辰口福祉会館

○ 地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
2月22日	根上地区スポーツ・文化協議会	根上学習センター
5月26日	第9回スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
7月27日	根上り七夕まつり「踊りのタベ」コンクール	根上総合文化会館周辺
11月9日	第9回市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
12月16日	根上地区スポーツ・文化協議会	根上総合文化会館

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
6月7日	第1回寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
6月16日	寺井地区市民さわやかグラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
6月30日	三世代ふれあい子ども体験まつり	寺井地区公民館
7月14日	寺井地区クリーンデー	寺井地区一円
10月6日	第9回スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月27日	第9回寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区一円
10月27日	第9回寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
12月13日	第2回寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
6月23日	能美市でホテルを見よう！「ホテルの観察会」	ふるさと研修センター
8月8日	夏休み手作り教室「飾り棚をつくろう」	ふるさと研修センター
10月6日	第9回スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
11月17日	国際交流サロン 2013	辰口福祉会館
平成26年3月21日	体験教室 しいたけの植菌	博物館

評価

○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

地区公民館は、自治公民館間のコーディネーター的な立場として、自治公民館同士の結びつきを強める役割を担っています。その具体的な活動として、地区公民館で開催する事業の情報を提供したり、自治公民館からの情報を集約したり、懇談会や研修会などを開催することがあります。

自治公民館は、町内単位や小学校単位で活動しているところもあり、地域コミュニティ形成に必要な存在になっています。今後は、地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流をさらに強め、市内一丸となって地域を元気にすることが求められます。

○成人式

成人式は3会場(根上、寺井、辰口)に分かれてそれぞれ開催しました。平成25年度はどの地区も大きな問題はなく、厳粛なうちに終了することができました。式典の運営については実行委員制度を採用しており、新成人の中から実行委員を選び、地区毎に式典内容の企画・運営をしました。実行委員の他にも、式典協力者(謝辞、子から親への感謝の手紙など)や受付協力者を募り、新成人の力で成人式を運営するような形となりました。その他にも実行委員は、恩師からのビデオメッセージの作成、保育園から中学校までの思い出を写真としてまとめたスライドショーの作成等、意欲的に取り組んでいる様子が見えられました。

○立志式

立志式は、平成22年度から3会場で開催されていたものを1会場にまとめることにより、予算の削減、効率的な運営に努めています。

また、平成22年度まで当日配布のパンフレットに掲載していた立志者の名簿を、平成23年度から掲載しなかったことで、保護者の方から「名前が出なくて嬉しい」といった声があり、好評を得ることができました。式典中に行った「立志の言葉」では、立志者の代表らしく堂々と発表しており、まさしく志を立てるのにふさわしいものであったと感じました。式典後の記念講演についても、講師である河村好光さんの能美古墳群に関する貴重なお話は、生徒にとって、非常に有意義な時間となりました。

○文化祭

文化祭事業は、発表部門と展示部門に分かれています。

発表部門では、文化協会や市内小・中学校の児童・生徒、市内の自治公民館及びサークルが、日頃の練習の成果を発表しています。文化祭での発表を各団体の目標として設定することにより、練習にも意欲的に取り組むことができます。また、他の団体と合同で発表会をすることにより、団体間での連携が深まっています。

展示部門では、文化協会、各地区公民館での開催教室、児童館、コミュニティセンターなどが、展示に向けて作品を製作しており、文化的な活動を推進するものとなっています。

期間中に開催されているお茶席や体験教室、将棋大会では、参加者が体験することもでき、見る以外の楽しさも含まれる事業となっています。

また、作品の展示や体験教室が、教室の宣伝効果となっている団体もあり、講座や教室への参加者を増やすための良い機会となっています。

○意見

評価者は、常々、公民館は、地域住民に対し学びの機会を提供する「公民の館（やか

た)」であるとともに、行政や地域の各種団体・機関と地域住民との「間（あいだ）」に位置し、必要に応じて地域住民と行政とを結ぶ公民「間」、地域住民にひとや体験・自然等との出会いの場を提供しその「感性」を豊かにする公民「感」、社会のしくみや地域課題などの学びを通じて人生観や職業観などものの見方や考え方に影響を与える可能性を持つ公民「観」、地域住民に地域で生き、暮らし、働き、支え合いそして学び合う歓びを提供する公民「歓」、地域住民を強い絆で結び強固な環を形成することに貢献する公民「環」、魅力的で活力ある地域づくりの中核的な「幹（みき）」となる場、あるいは地域づくりの担い手、リーダー（幹）を育てる公民「幹」というようにとらえています。

地区公民館もまた地域の町内レベルの「自治公民館」もそうした位置づけで事業や活動を推進していただければ、地域住民の絆やつながりづくりにより一層寄与することになるのではないのでしょうか。また、地区公民館は当該地域の自治公民館への情報提供や必要な助言等を行い、市民の生涯学習活動の裾野の拡がりにさらに尽力してくださるよう期待いたします。このことは、文部科学省の第2期教育振興基本計画の4つの柱の4番目、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」の具現化に寄与するものとなるのではないのでしょうか。

成人式や立志式は人生の一つの区切りであるとともに、新たな自分のスタートの意味を持つ儀式です。実行委員会形式による成人式の企画・運営などは、実行委員に「自己肯定感」「自己尊重の意識」を育てる機会になるもので、大切な「若者育て」の機会、次代の「幹」育て、社会参画の機会の提供となるものです。

また、総合文化祭事業も、市民の日頃の活動の発表、交流の機会であり、参加者の生きがいややりがいを育てる機会になるものであり、この事業もまた、新たな学習者を開拓する機会となるのではないのでしょうか。

4 社会教育施設の運営

◇市立図書館（122, 869 千円）

3館（根上・寺井・辰口）連携して、図書館の運営方針に基づき、生涯学習の拠点として、地域に根ざした図書館づくりをめざしました。

平成25年度の主な取組

- ◎図書館資料の充実・・・3館の持ち味を生かした資料収集。
- ◎レファレンスサービスの充実・・・利用者や市民の調査、研究の援助。
- ◎読書普及活動の推進
- ◎図書館利用拡大事業

図書館がより“本と人”・“人と人”・“人と知”が出会い、交流する場となることで能美市の暮らしやすさを向上できるという意図のもと、下記事業を昨年度に引き続き、企画実施しました。

- ・根上図書館・・・ビジネス支援事業

高校生を対象とした就活講座の開催・ビジネス書の収集など

- ・寺井図書館・・・子育て支援事業
親子コンサート、手づくり小物教室、子育て講座の開催
- ・辰口図書館・・・合格図書館
合格図書館（学習室開放）
子供向け企画（おばけやしき図書館）

◎利用状況（平成 26 年 3 月末統計）

・蔵書数	389, 720 冊
・登録者数	37, 501 人
・貸出者数	125, 734 人
・貸出冊数	524, 177 冊

評価

市立図書館

- ・図書館運営方針に基づき、予算の有効活用と 3 館の特色を生かしたバランスある資料収集に努めました。
- ・「能美子ども読書活動推進計画」に沿って、年代に応じた読書活動の推進に努めました。活動内容としては、乳児へのブックスタート事業、保育園への出張おはなし会、小中学校への移動文庫やブックトーク等を実施し、各機関との連携を図りました。
- ・各図書館それぞれの活動のほか、読書スタンプラリーや古典講座など合同での開催事業を行いました。
- ・職員の専門的力量的向上を図るため、全員参加の職員研修を行いました。
- ・図書館利用拡大事業への取り組み

根上図書館（ビジネス支援事業）

- ・就職や専門学校進学希望の寺井高校生を対象に、職業選択の意識付けを目的とした就活講座を開催しました。今年度は、日本ガイシ株式会社 石川地区事業所長代行 大鷹 昌司氏による講演に、112 名の参加がありました。
- ・一般ビジネス書コーナーや高校生や大学生向け職業教育コーナー、子育て世代を対象にした就職活動関連本の書架を設置し、利用しやすい配架としました。ビジネス書等を充実させたことにより、30 代から 40 代の登録者が増加し、利用拡大につながりました。

寺井図書館（子育て支援事業）

- ・語りと二胡のコンサート
マタニティーの方や子育て中の親子を対象に、語りと二胡のコンサートを実施しました。親子合わせて 34 名の参加。
- ・手作り手芸教室

マタニティーを対象に赤ちゃんのための小物作りを開催しました。11名の参加。
託児は地域の子育てグループに依頼しました。

・子育て講座

子育て中の方を対象に、「お母さんのためのお父さんづくり」と題し、芳寿記念
病院小児科医 多賀千之医師による講座を実施しました。8名の参加。
託児は地域の子育てグループに依頼しました。

辰口図書館（合格図書館）

・合格図書館

1月上旬～3月初旬までの18日間（土日祝日）、2階研修室を学習室として
開放しました。先端大学学生に支援員を依頼し自己の経験や意見をまとめた
アドバイス集を合格図書館利用者に配布しました。また、2年前に合格図書館
で勉強し希望大学に入学した学生に一日支援員を依頼しました。その学生の
アドバイスを合格巻物にして、合格図書館利用者へ配布しました。のべ、84
人の利用でした。

・子供向け企画（おばけやしき図書館）

夏の夜のおはなし会を企画し、こわい本を読みきかせるおはなし会のあと
博物館の夏の展示会場を即席おばけやしき会場に替えて、来館した子ども
たちにおばけやしきを体験してもらいました。親子約100人の参加でした。

○意見

市内の根上、寺井、辰口の各市立図書館が、それぞれ「ビジネス支援」「子育て支援」
「合格図書館」をメインにしながら、市民の皆さんに「ホン」を中心に事業展開し、
その成果が自己評価として示されておりました。巷間、活字離れが指摘される中、改
めて「活字」文化の提供拠点であるとともに、様々な知的情報提供を通じた「知」の
拠点であることをふまえ、図書館活動に取り組みますよう期待します。

また、図書館法の規定のとおり、図書館の取組は、単なる事業や活動とは異なる「図
書館奉仕」であると言うことを肝に銘じていただきたいと思います。

◇根上総合文化会館（58,918千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。
特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タン
ト」では、市、市教育委員会の主催事業をはじめさまざまな催し物が年間を通して開催さ
れています。

利用状況（平成25年度）

年間利用件数	2,570件	（平成24年度	2,388件）
年間利用者数	129,173人	（平成24年度	135,520人）

評価

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、講座を開催する際にご利用いただいています。

また、平成 25 年度よりこれまで 2 箇所に分散されていた教育委員会の機能を集約した能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

根上総合文化会館主催事業として、「熱狂の日」音楽祭、タント寄席、映画上映会、綾戸智恵コンサート等を開催し、文化交流を広く行いました。

平成 26 年度は開館 20 周年を迎え、また、市制 10 周年の節目の年となりますが、これからの利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めていきます。

○意見

根上総合文化会館が、学習活動団体の利用だけではなく、学校や企業の利用に供され、それぞれの団体や機関の活動の支援に資していることは重要なことと思います。併せて、主催事業の企画にも創意工夫されておられることと存じますが、利用者のニーズを丁寧に把握し、それに真正面から応えることとなる事業活動の推進を期待いたします。

また、「タント」として親しまれている根上総合文化会館が、開館 20 周年を迎えたという歴史を振り返りながら、さらなる未来に向けた歩みを期待いたします。

◇根上学習センター（36, 981 千円）

宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」、茶室「松海庵」、「国際交流サロン」のほか「根上図書館」を含め多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者までが集い、学習や交流を深めることを推進しました。

平成 25 年度の主な取組

児童・生徒の科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業においては金沢大学名誉教授を指導顧問に、また、教職員、能美星の会、根上いん石に関係する皆様には、委員として主催事業の企画運営について検討していただき、事業を実施しました。

- 1 本市には自動車のトランクに落下した根上いん石があることから、小学 4 年生を対象とした星空といん石学習、中学 3 年生を対象としたいん石講演会、プラネタリウムでの星空教室などをおして、はるか遠き宇宙を身近に感じ、ひとりでも多くの児童・生徒に宇宙への関心を持っていただけるように努めました。
- 2 おもしろ科学教室、ガリレオクラブをおして科学への興味を持っていただき、ひいては学校教育の一助になればと、指導される先生方を中心にそれぞれの教室の運営に力を注いできました。また、プラネタリウムを使つての星空教室、当センター屋上での望遠鏡を使つての星空観察会は、子どもから高齢者までの方々を対象に、能美星の会の皆様が星空の解説を行いました。
- 3 夏休み期間にはサイエンスフェスタと銘打ち、低学年、中学年を対象としたコズミック

カレッジや、小学校の先生方、大学の名誉教授による協力を得て、科学の実験を体験する科学の館屋台店、根上いん石の展示、企画展「ミニエクスプロラトリウム展」、サイエンスショーなど、工夫を凝らした企画を行いました。子どもたちに科学をより身近に、楽しく感じてもらえるように努めました。

評価

理科離れが危惧されている中、子どもたちが科学への興味、関心を高め、科学的なものの見方や探究的な態度を育てていけるように、これからも指導體制の確保を図り、主催事業の企画運営に努めていきたいと思えます。

施設は市民の交流の場や生涯学習の場として創作室や学習室が使用されており、今後も施設の活用が十分に図られるよう努めていきたいと思えます。

○意見

様々な学習機能の複合施設としての根上学習センターですが、特に科学への関心を育てるための活動は、貴重なものと思われます。金沢大学市・町共催講座として実施している3中学校生徒対象の科学の講座も大切な企画と思われます。もちろん専門性を期待されるが故に、運営にも、何かとご苦労があたりかと思えますが、地域人材の協力支援を得ながらその使命をよりいっそう果たしていただけるよう願っています。

◇根上青年の家（15, 490 千円）

青少年やその他の団体の集団宿泊訓練や共同学習の場として、規律ある活動を通して安全有為な人間教育を図る施設として多くの方々にご利用されています。又ロシア、シエレホフ市との姉妹都市交流や、根上中学校と韓国培材中学校と姉妹校交流の場として、多くの市民に楽しまれています。

平成 25 年度の主な取組

- 1 施設整備として、地下タンク改修工事を実施し、利用者に安全で安心のある場を提供しました。
- 2 宿泊室のエアコンを取り換え、利用者が一年をとおして快適で安全に利用できるよう整備しました。
- 3 主催事業を実施し、(年 2 回) 団体宿泊研修をとおして、子供達が楽しく交流し「想像力や協調性、思いやり」ある心を育て、また自主的な生活態度を身に付けてもらえるよう努めていきたいと思えます。

評価

子どもたちが「想像力、協調性、思いやり」のある心を高めていけるように、今後とも主催事業の企画運営に努力していきたいと思えます。

施設は「集団宿泊訓練や、共同学習の場」として利用されています。
今後とも施設の活用が十分に図られるよう努めていきたいと思いをします。

○意見

青年の家は、青少年教育の施設として、これまで集団宿泊訓練を中心にしながら青少年の自主性や協調性を育成に努めてこられたことと思いをしますが、さらに事業内容の拡充を図り、少しでも利用率の向上に努められますよう願っています。

◇青少年ホーム（3,091千円）

主催講座やサークル活動の拠点として利用されています。

「佐々木守メモリアルルーム」には郷土出身の脚本家佐々木守さんの蔵書や遺品を常設展示しています。

館内の根上校下婦人会「喫茶トロイカ」では展示コーナーや朗読会、ミニコンサートを開催し市内外からご利用いただいています。

評価

主催事業の充実を図るとともに、軽運動室や音楽室を備えている施設の特色をいかし、生涯学習活動の場として利用拡大を図りたいと思いをします。

○意見

勤労青少年ホームが、働く青少年の学習活動やサークル活動の支援を通じて青少年のつながりづくりや絆づくりに成果を上げてきたことを理解しているひとりではありませんが、青少年の思いを把握しながら、施設内の軽運動室や音楽室の利活用に創意工夫をこらし今後とも利用者の拡がりにご尽力賜りたいと考えます。

以上市内には、様々な社会教育施設が、それぞれ独自の役割を持つ施設として事業展開しておりますが、施設の間での事業や情報のより一層の連携・協力の可能性を追求し、強固なネットワーク化を図るとともに、市内の学校や教育委員会所管以外の施設とも連携しながら事業を展開されるよう期待いたします。

施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

1 文化財の保存と活用

平成25年度の主な取組

◇職員提案 能美古墳群活用推進事業（継続事業・2,800千円）

①史跡と花のコラボレーション

秋常山史跡公園（秋常山古墳群）の魅力をさらに高め、観光資源としての積極的な誘客を図るため、園内及び周辺に四季折々の花を植える史跡と花のコラボレーション事業を平成23年度より行っています。平成25年度は地元秋常町、秋常町営農組合の協力を得て、隣接田1haに菜の花とコスモスの栽培を行いました。平成24年秋から栽培を始めた菜の花は4月に見事な花を咲かせ、新聞やテレビで大きく採りあげられたことで市内外より多くの見学者が訪れました。菜の花の後に栽培を始めたコスモスも9月には満開の花を咲かせました。また、園内では秋常山2号墳に飾られている“朝顔形埴輪”にちなんで朝顔の花を地元の寿保育園園児と育てました。こうした取り組みにより史跡のPR効果が高まり、史跡を訪れたことのない人々にも公園へ足を運ぶ機会が増え、史跡そのものの関心へと繋がっています。

さらに、菜の花とコスモスの開花期には“菜の花フェスタ”と“秋常山古墳まつり”を開催し、相乗的な誘客効果を図りました。

②菜の花フェスタの開催

4月14日（日）に秋常山史跡公園・秋常勤労者体育館を会場に能美市民環境ネットワーク・NPO法人エコ未来塾主催の“菜の花フェスタ in Nomi 2013”を開催しました。菜の花の栽培をイベント誘致に繋げ、相乗的な誘客効果を図るもので、環境をテーマとした様々なイベントが企画されました。今年度は主会場を秋常勤労者体育館周辺に移し、会場と菜の花畑を人力車で繋ぎ、火起こしや勾玉づくりなどの古代体験を旧すみれ保育園園舎で行うなど新たな試みも行われました。来場者は昨年の3倍の約3,000人を数え、史跡公園が多くの人々で賑わいました。

③秋常山古墳まつりの開催

9月23日（日）に秋常山史跡公園を会場に“能美のまほろば 秋常山古墳まつり 2013～灯りと音の夕べ”を開催しました。この祭りは、秋常山古墳群に眠る1,600年前の大王、巫女に秋の実りと収穫を感謝し、能美市の今後の繁栄を祈ることをテーマとしたものです。イベントのメインは、粟生小学校6年生による古墳儀礼の再現で、古墳時代の大王、武人、巫女、村人に扮した子どもたちが、夏休みに自分達で作った土器を用いて、当時行われたであろう古墳での儀礼を演じ、古墳に眠る大王に感謝の言葉を述べました。儀礼が終わった後、古墳に並べたエコキャンドル1,000個に点火し、古墳のライトアップを行いました。陽が沈み暗くなった会場では、ライトアップされた古墳をバックにジャズの演奏会を催しました。最後に、会場を秋常勤労者体育館に移して雅楽の演奏会を行い閉幕しました。約1,000名の参加のもと、春の賑わいとはまた異なる、古墳を中心に据えた幻想的で落ち着いたイベントとなりました。

④古墳ボランティア活動

平成23年度より活動を行っている古墳ボランティアは現在10名を数え、古墳ガイドや歴史学習、各イベントでの古代体験指導などさまざまな取り組みを行っていま

す。平成 25 年度は小学校の歴史学習，P T A 活動，町会イベントなどで古代体験の要望が多くあり，安全で楽しく学べるよう工夫を凝らしながら指導にあたりました。また，紙製の古代甲冑作りや古代の機織り体験など新たな古代体験メニューを習得し，古墳祭りやまなびフェスタで実践しました。

平成 26 年 2 月には秋常山古墳群の南側に隣接する旧すみれ保育園園舎を改装した「能美まほろばの里 古代体験館」が正式オープンし，古代体験を通じた歴史学習のさらなる充実が期待されます。

◇西山古墳群保存整備事業（継続事業・2, 032 千円）

平成 25 年 6 月に開かれた国の文化審議会で，既指定の国史跡和田山・末寺山古墳群，国史跡秋常山古墳群を統合，これに寺井山古墳群（県指定史跡寺井山遺跡）と西山古墳群を追加指定し，全体を「能美古墳群」と名称変更するよう文部科学大臣に答申が出されました。これを受けて同年 10 月 17 日付け官報告示により正式に能美古墳群が一体的な国史跡に指定されました。

また，9 月には能美古墳群出土品の再調査で新たに確認された和田山 23 号墳出土刻書須恵器が国内最古の資料であることを報道発表し，全国的に大きな話題となりました。10 月には市立博物館で特別展示を行い県外からも多くの来館者が訪れました。

こうした北陸を代表する貴重な歴史遺産である能美古墳群を後世へ確実に継承するため，平成 26 年 2 月 4 日に有識者や地元代表で構成される「能美古墳群保存管理計画策定委員会」を設置。未整備の西山古墳群を中心に，今後の保存管理のあり方について検討を始めました。

◇湯屋古窯跡群発掘調査事業（新規事業・5, 700 千円）

湯屋古窯跡群は飛鳥時代の 7 世紀後半に操業した須恵器・瓦窯であり，これまでの調査で 5 基の窯が確認されています。なかでも B 支群 1 号窯は，須恵器と瓦を併焼した瓦陶兼業窯で，その瓦が国指定史跡 末松廃寺（野々市市）に供給されたことが明らかとなっており，白鳳期における古代寺院と密接に関わる生産遺跡として注目されています。また，その他の須恵器窯も以後 9 世紀にかけて能美丘陵上で展開される能美窯跡群の前半期に属するもので，当地域における古代窯業生産の様相を解明するうえで重要な窯跡として位置づけられます。

平成 24 年度より民間開発に伴う発掘調査を実施しており，平成 25 年度は B 支群 1 号窯の調査が完了しました。調査の結果，当窯は当初，須恵器窯として造られ，少なくとも最終操業時には瓦窯として用いられたことが判明しました。また，A II 支群の確認調査では 2 基の須恵器窯が残されていることも明らかになりました。7 月 6 日には B 支群 1 号窯の調査成果について現地説明会を開催し，約 100 名の参加者を得ました。

評価

【能美古墳群活用推進事業】

- ・コスモスと菜の花の開花期にテレビ・新聞等にとりあげられたことで市内外から多くの見学者が訪れる宣伝効果を生み出しました。
- ・さらに開花期に合わせてイベントを実施したことで、相乗的な宣伝、誘客効果をあげることができ、秋常山古墳群の周知と活用が図られました。
- ・コスモスと菜の花の栽培を地元へ委託したことで、地元市民に史跡への理解と愛着を深める機会となりました。
- ・今後の課題としては、イベントのマナー化を防ぐため企画段階からさまざまな団体等と連携して事業を進めていく必要があります。
- ・情報発信面に弱さがあるため、インターネットの活用などより幅広い層、地域を対象とした宣伝を行う必要があります。

【西山古墳群保存整備事業】

- ・西山古墳群を含めて能美古墳群が一体的な国史跡指定を受けたことで、能美古墳群の保存が図られました。
- ・今後の課題としては、一体的な能美古墳群としての保存管理計画、整備計画を策定し、史跡を後世へ確実に継承するための具体的な方針、方法を検討する必要があります。

【湯屋古窯跡群発掘調査事業】

- ・調査成果を新聞や現地説明会で広く公開したことで、郷土の文化財について多くの市民に知ってもらう機会を設けることができました。
- ・今後の課題としては、調査成果や出土遺物を博物館などで公開する方法を検討する必要があります。

○意見

能美古墳群活用促進事業による秋常山史跡公園（秋常山古墳群）における、史跡と花のコラボ、菜の花フェスタ、古墳まつりなどの引き続いての開催は、市民のみならず広く古墳群の価値を知らしめ、いにしえに思いをはせるとともに、歴史の思いを感じさせる取り組みになったことと思います。併せて、継続事業としての西山古墳群の保存整備、新規事業としての湯屋古窯跡群発掘調査事業も調査・研究を通じて当該古墳の歴史的、文化的、学術的価値を様々な方法で発信して下さることを期待します。

文化財は、市民共有の財産であり、能美市の「価値あるもの」であることに鑑み、関係省庁及び地元の理解と協力を得ながら整備・保存にご尽力ください。

また、多様な市民の学習成果を発揮する場として、市民ボランティア（古墳ボランティア）による文化財解説、古墳群解説、古墳群維持など市民参加をよりいっそう奨励されますよう期待します。

さらに、新規事業として取り組まれた「湯屋古釜後発掘調査事業」についても、歴史の隙間を埋めることになる極めて学術的な事業ですので、時間を要しながらもよりよい成果が導き出されることを願っています。

なお、文化財は、文化・教育資産としての側面と観光資産・資源としての側面を合わせて有している場合があり、引き続き市の企画担当課や観光交流担当課等とも連携しながら、その発信についても検討していただきたいと考えます。

2 博物館の活動

◇展示・教育・普及活動（1,338千円）

①ギャラリー展示

月	展観名	開催期間		来場者人数
4	こくぞう植物画教室 春の草花	4月 6日（土）	4月14日（日）	530
4	日本洋画の流れ 大正から昭和の 埋もれた作家を中心に	4月26日（金）	5月12日（日）	709
5	能美市写真協会展 四季のうつろい	5月16日（木）	5月26日（日）	502
6	辰口絵画クラブ展 「辰口の風」	6月 2日（日）	6月14日（金）	400
6	能美市美術作家協会 絵画部 第15回N展	6月15日（土）	6月30日（日）	799
7～8	夏休み企画展 知っとるけ！ふるさと能美の民話	7月26日（金）	8月25日（日）	2,482
9	嶋崎秋子 絵画展 デッサン・油彩画・鉄の造形	8月30日（金）	9月 8日（日）	517
10	秋の企画展 刻まれた古代能美の文字と絵画	9月21日（土）	10月27日（日）	1,421
11	福島健介 フォトライフクラブ作品展	11月 3日（日）	11月10日（日）	501
11	新川 勇 四国霊場八十八カ寺を描く	11月14日（木）	11月24日（日）	439
11～ 12	角越・橋本・川島 白山の眺望 写真展	11月30日（土）	12月15日（日）	795
12～ 1	館蔵品展 絵画・彫刻・漆工・光画	12月21日（土）	1月19日（日）	404

1	石川ネイチャーフォト写真展	1月24日（金）	2月 2日（日）	503
1	自然解説員 石川の自然	2月 8日（土）	2月16日（日）	441
2	のみ写楽会 2013 四季のうつろい	3月 1日（土）	3月16日（日）	559
2～3	辰口押し花教室 合同作品展	3月19日（水）	4月 6日（日）	583

11,585名

②ふるさと講座 伝えたい心の世界 ふるさとの民話 対象：一般

回	期 日	テ ー マ	参加者
第1回	5月18日（土）	ふるさとの宝 民話の概論 講師：平野 俊也	18
第2回	7月20日（土）	語り伝えたい「ふるさと」の心 講師：宮本 茂	20
第3回	9月21日（土）	民話と地名～紙芝居制作の思い出 講師：後 泰夫	28

66名

③博物館講座など（辰口地区公民館との共催を含む）

講座名	期 日	講 師	参加者
加賀宝生の魅力	4月17日（水）	金沢能楽美術館 学芸員 山内麻衣子	53
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	5月第2土曜日 10回	日本野鳥の会石川支部 高 剋滄・高 文子	180
ギャラリートーク 大正・昭和の絵画への思い	4月28日（日）	絵画蒐集家	38
能美市でホテルを見よう ホテルの話と観察会	6月23日（日）	石川むしの会 石川 卓弥	83
オカリナと おはなしのゆうべ	7月26日（金）	オカリナグループ 九谷の風 能美民話の会 奈良井伸子 図書館司書	83

ギャラリートーク 方言で民話を語ること	8月1日(木)	元アナウンサー・語り部 加藤美栄子	43
二胡と語りの夕べ	8月25日(日)	彩霞二胡愛好会 図書館司書	48
木工体験 飾り棚をつくる 藍の生葉で染める	8月8日(木)	公民館・博物館職員	30組
キノコの植菌体験	3月16日(日)	能美の里山 ファン倶楽部会員等	30組

④団体見学の受け入れ

学校教材 4月～5月 寺井小・宮竹小・辰口中央6年 8クラス 277名
1月～2月 市内・川北町の小学校3年 19クラス 481名
回想法 33施設 387名 ⇒ 77施設 701名
一般 5団体 98名 ⇒ 9団体 363名

⑤博物館友の会

講演会・・・「加賀宝生の魅力」4月 「ふるさと遺跡塾」 2月
研修会・・・県立美術館「国宝 薬師寺展」・能楽美術館 5月
愛知県美術館「プーシキン美術館展」 6月
国立国際美術館・当麻寺・明日香村など 11月

ボランティア活動・・・展示の巡視・菜の花フェスタ(4月) 古墳まつり(9月)
蟹淵の目視観察8回 除草, 移植, 回遊通路の整備など各1回
菜の花フェスタ, 古墳祭りのボランティア

◇調査・収集・記録事業(597千円)

①生物生息調査

- ・「能美の自然」ファイル 1,000部作成(環境フェスタ, 観察会, 関連の展示で配布)
- ・自然監視員の選任と生息地の巡回
- ・指定文化財 荒屋古墳群のササユリ保護看板製作

②資料の整理

温泉や商店の引き札(明治後期), 九谷焼の下絵などの裏打ち
布張り保存箱の作製

◇その他(100千円)

①博物館実習生の受け入れ

期 間：8月6日（火）～8月15日（木）
実習生：金沢学院大学文学部4回生 1名

②のみでんライトアップ

同時期に同様の祭事があり、のみでん桜フェスティバル中止
期 間：4月1日（月）～14（日）

評価

地域の博物館として、能美市域の「歴史、民俗」にこだわった内容で、夏秋の企画展示を開催しています。本年度は市域の民話に焦点をあてた企画展を実施しました。夏休み期間でもあり、親子で楽しみ、学習できる内容となり、多くの来館者をえました。

また、学校での民話学習の教材として、民話の会をはじめとするグループや図書館の資料として利用いただける様、市内の主な民話を集録した印刷物を発行することができ、大きな成果となりました。さらに、民話をテーマにすることで、市内の3図書館と連携し教育普及活動を実施することができたことも、新しい取り組みとして評価できます。

平成14年度より実施した生物生息調査は、昨年のは乳類調査の成果報告をもって区切ることができました。本年度は、クリアファイル「能美の自然を」を製作し、小中学生対象の教育普及活動に利用することができ、自然環境の啓発に効果がありました。今後、動植物の生息地の保全について、緊急度の高い順に、専門家や市民グループらとともに、保全のための施策を講じる必要があります。

春先のイベントとして、のみでん桜フェスティバルが4年間実施されましたが、同時期に市の別のイベントなどもあることから、本年度は、祭りを中止し、広場を中心に桜のライトアップを実施しました。フェイスブックなどを通して周知されたのか、ライトアップを見に来る人も多く、話題性があつたようです。

○意見

博物館は、施設の設備面での課題があり、館活動上、一定の制約があるように見受けられますが、地域住民に社会教育的影響を与える教育の機関として、様々な工夫をしながらその機能を発揮しているように思われます。自己評価に、今年度は、地域の民話に焦点を当てた活動を展開、と記されていますが、これも後世に継承すべき「地域の価値」「地域の文化」だと思います。子どものニーズを適切に把握しながら社会教育としての博物館事業とのマッチングを考慮して、今後ともより創造的な博物館活動の推進を願っています。

「博物館友の会」の活動に見られるように、住民の学びの成果を発表する機会の提供、講師や解説員として協力していただく参加型の企画、「能美の自然」ファイルの作成、のみでん広場のライトアップなどの事業も博物館をより市民に親しまれるものとする上で効果的であつたと思います。

さらに環境問題に関する理解の促進、能美市の産業振興、地域振興や観光振興に寄与する企画、市内のいしかわ動物園等との連携事業など、地域文化や生涯学習・社会教育の中核的拠点としての機能の発揮が今後とも期待されます。

3 文化振興

平成 25 年度の主な取組

◇文化連盟・協会（4,200 千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、相提携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計 38 協会。

◇民俗芸能保存伝承（720 千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計 15 団体。

評価

・文化連盟・協会への補助を行うことで、経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や美術展、発表会などで市民に成果を発表することで、文化連盟・協会だけでなく市民の文化意識も向上しています。

小中学生対象に年 2 回行っている席書大会や、市民からの作品を募集して発刊する文芸美など、連盟・協会以外の方が参加できる機会をもうけることにより、市全体の文化発展に寄与しています。

・民俗芸能保存会への補助を行うことで、教室や練習会を開催できています。研鑽した日頃の成果を能美市の祭りやイベントなどで積極的に披露することで、伝統文化を守り伝えていきます。

◇第 22 回能美川柳大会兼第 20 回市民川柳大会（1,090 千円）

日 時 7 月 13 日（土） 11:00～16:00

会 場 能美市根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

内 容 第 22 回能美川柳大会

第 20 回市民川柳大会（小学生・中学生・一般の部の 3 部門）

投句数 能美川柳大会 5,528 句（内当日 180 句）

市民川柳大会 8,445 句（2 宿題の合計）

受賞者

□市民川柳大会の部 事前投句

○伊野 征之 選 課題「時計」

特選

・見る人がみんなしあわせ花時計 福岡小6年 安田 春風

- ・走り込む時計みながら自己ベスト 寺井中3年 山下 恵大
- ・ドラマいくつ見てきた駅の大時計 来丸町 紺矢 はじめ

○加藤 富彦 選 課題「泳ぐ」

特選

- ・泳げた日あの感動を忘れない 湯野小6年 東方 未夢
- ・10ヶ月泳ぎ続けて母に会う 辰口中1年 中川 瑛美
- ・母という海で泳いでいる安堵 辰口町 谷 眞知子

□能美川柳大会の部

事前投句課題 雑詠／寺／口

当日投句課題 根／前

能美川柳会 会長賞

- ・前向きに生きた男にある美学 石川県 穴田 圭子

能美市文化協会 会長賞

- ・根回しにみんな答えて咲く桜 石川県 高塚 夏生

北國新聞社 社長賞

- ・母になる爪をまあるく丸く切る 岡山県 山本 操

石川県川柳協会 会長賞

- ・雑草は大地を掴む魔法の手 富山県 蔵本 陸子

全日本川柳協会 会長賞

- ・明日生きるつもり真赤な予定表 福井県 土藏 芳竹

能美市議会 議長賞

- ・たんぽぽのわた毛へ口止めの噂 大阪府 荻野 浩子

石川県教育委員会 教育長賞

- ・古里の寺で心の棘を抜く 茨城県 片野 晃一

石川県知事賞

- ・煩惱の重さに喘ぐ寺の坂 兵庫県 藤原 紘一

NHK 金沢放送局長賞

- ・言い訳をしながら決める試着室 愛知県 村川 和子

能美市教育委員会 教育長賞

- ・非常用袋に入れておく笑い 大阪府 阪本 こみち

能美市長賞

- ・怖いもの見たさに前へつんのめる 石川県 中川 洋子

大会大賞（当日投句）

- ・根雪融け人に会いたくなってくる 富山県 酒井 清二

大会大賞（事前投句）

- ・モザイクを消せば危ない国ばかり 愛知県 後藤 幸正
- ・口を開け世界遺産と対座する 栃木県 柳岡 睦子

評価

・能美川柳大会は、全国から参加者を募集するので、石川県外の方々に能美市をPRする良い機会となっています。現在は投句用紙に「能美市のご案内」を掲載し、能美市の観光スポットを紹介しています。しかしながら、大会参加者の高齢化が進むとともに、参加者数が減少し、開催内容の見直しが必要とされています。観光面も視野に入れ、若者も参加しやすい大会運営を検討する必要があります。

・市民川柳大会は、学校に協力を仰ぐことで、小学生、中学生も川柳を投句しています。多感な時期に、日本の文化に触れることにより、将来的な能美市の文化の振興と向上を図ります。

○意見

文化は、地道な活動の継続により花開くという側面を持っています。そのような意味でも、市の文化団体への補助金交付による活動支援は、当該団体の活動基盤を強化することになることは論を俟ちません。そうした団体等の活動が市内にそして市民の間に文化的雰囲気醸し出していることは紛れのないことであります。

長い歴史と伝統の継承により広がっている能美市の川柳大会は、川柳の魅力を市の内外へと発信するものとなっています。寄せられた句の一つ一つに様々な思いが込められ、評価者も共感を覚えるものばかりです。このような市民レベルの思い、つぶやきにも似た感性の表出の機会は貴重です。「川柳のまち能美市」を内外によりいっそうアピールしてください。「川柳のまち能美」事業とタイアップすることのできそうな他部局所管の事業はありませんでしょうか。

施策5 生涯スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じて、障がいを持たれた方も含む、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった、一生涯スポーツに親しんでいく運動やスポーツ活動を取り入れたライフスタイルの構築を図るために、誰もがスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的に活動できるスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

1 競技スポーツの充実・強化

平成25年度の主な取組

◇県民体育大会への選手派遣（5,275千円）

加賀市を主会場に南加賀地区3市1町を中心に開催された県民のスポーツの祭典である「石川県民体育大会」に能美市を代表して参加する選手を派遣し上位入賞するための補助を行いました。

◇能美市民体育大会（804 千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘と育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設を利用して開催され、今年度は21競技が開催されその運営補助を行いました。

◇全日本競歩能美大会（11,348 千円）

アジア最高峰の大会である「アジア陸上競技選手権大会 20km競歩」を兼ねるとともに、「第8回日本学生20km競歩選手権大会」を併催し、「第17回アジア競技大会（2014／韓国・仁川）男女20km競歩代表選手選考競技会」にも位置付けられた大会に8部門計396名のエントリーのもと開催された大会の運営費として補助を行いました。

期 日 平成26年3月16日（日）

場 所 能美市営20km公認（2km周回）コース

◇第56回全国銃剣道能美大会（1,200 千円）

銃剣道競技の地方で開催される唯一の全国大会として、例年全国各地の精鋭が集まる大会である。全国から175チーム、1,062人が出場しました。

評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るためのその運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものである。県民体育大会の成績では、男子総合5位、女子総合6位で、安定的に6位入賞圏内を維持する結果となり、今後の練習への励みに繋がったところであり、今後もその運営に体育協会が引続き活動できるよう連携・支援を行う必要があります。

全日本競歩能美大会及び全国銃剣道大会は全国大会でありながら特殊性のある競技でもあることから、馴染みの薄い競技ではあるものの競歩大会はアジア選手権を兼ねる大会でもあり年々選手の参加数の増加やレベルも非常に高いものになってきたと共に、選手や大会関係者からは能美市の応接について好評を得るなど、能美市の知名度アップに大きく貢献しているが、全国各地から選手が集う大会でありながら、応援を含め市民の関わりが非常に薄いため、市民が大会に関われる仕組みづくりや競技の周知方法が検討課題です。

○意見

県民体育大会や市民体育大会は、スポーツ活動に携わる方にとって、日頃行っている練習の成果を発揮する機会であり、併せて「能美市」を発信する機会となるものでもあります。さらに大会への参加や開催に向けた支援は、選手層の拡がりやスポーツの普及や振興に寄与する面もあることから、今後とも継続的な取り組みを期待いたします。

全日本競歩大会、銃剣道大会は、能美市にしっかりと定着した大会ではありますが、

市民の中では、これらへの係わり度合いが、今ひとつという状況であるという自己評価ですが、昨年度の意見にも記させていただきましたが、「競歩のルール」、「銃剣道の魅力」というテーマでの講座を開設するなど、その基本について学ぶ機会を市民向けに提供されるのも認知度を高めることにならないでしょうか。また、中学校の体育の「武道」に短時間でも銃剣道の基本や心得を指南する機会を設けてはいかがでしょうか。昨年度と同じ提案ですが、ご検討賜れば幸いです。

2 生涯スポーツの普及・振興

平成 25 年度の主な取組

◇ジュニアスポーツクラブ活動（4,990 千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び底辺の拡大を図るため、市内 44 クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るためのリーダー研修やスポーツ交流大会を開催、指導力の向上を目的に指導者研修会を開催し、クラブ全体の円滑な運営を図っています。

◇高齢者健康クラブ活動（846 千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内 3 クラブ約 193 名の高齢者が 3 会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。県の交歓大会や普及育成会等に参加する等、3 クラブはもとより市外の健康クラブとも交流を図っています。

◇スポーツ教室「からだバランス塾」（2,439 千円）

スポーツを定期的実施する機会を提供し、スポーツをライフスタイルに取り入れることにより、体力の向上、精神的ストレスの発散や生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康保持増進を図ることを目的として、エアロビクス、ヨガやサルサダンスなど様々な教室を前期後期に分け一年をとおしたプログラム実施しています。

前期（4月～9月）10 教室 後期（10月～3月）10 教室 延べ 676 名参加

評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、44 クラブへの助成金による支援を中心に実施しているが、クラブによっては規模、活動時間数や指導者の人数及び質等が様々であることから助成金の使用用途が適切であるか検証する必要があるものと思われま

す。高齢者健康クラブ活動及びスポーツ教室「からだバランス塾」についてはともに参加される方が固定化しつつある。高齢者クラブについては運動の継続性が大切であることから固定化することには問題がないが、会員増加が見られないことに対してその理由を調査す

る必要があると思われます。

「からだバランス塾」は新たなエクササイズやダンスを積極的に取入れ、市民への機会提供に努めことにより定員数を上回る参加希望を得ることができました。ただ初期の目的を達した教室については、参加者の希望があれば今後サークル化し自主的に運営できるような手立てを講じ、運動の継続化と参加者固定化の改善に対応する必要があります。

今後もそれぞれの活動が、地域に根ざしたクラブとして活動できるよう連携・支援を行う必要があります。子どもから高齢者までのニーズの把握や周知方法などの検討課題もあります。

○意見

子どもから高齢者にいたる多くの市民が、生涯にわたって自分なりに親しむことのできるスポーツを持つことができることは、生きがいづくりや健康・体力づくり、生涯スポーツの普及・振興につながるものです。

ジュニアスポーツクラブ活動、研修会開催等への支援、高齢者健康クラブ活動への支援、さらにはスポーツ教室「からだバランス塾」の通年での開催など、今後とも生涯スポーツの裾野の広がりへの支援の継続は、地域団体の「育成」という視点からも大切なことと思われます。

なお、助成を受けている団体においては、その原資（助成金）の源は、市民の浄財である、という認識を持つ必要があります。その意味においても、経費の執行においては、適正・適切かつ効果的に行わなければならないという高度な自律性が求められます。

各団体に補助金の性格や意義についての理解を求めるとともに、最少の経費で最大の効果をめざすことを改めて認識していただく機会を個別的にでも設ける取り組みに着手することを提起いたします。

3 スポーツ施設の整備充実

平成 25 年度の主な取組

◇能美市根上ふれあいプール改修工事（建築）

- ・屋根改修工（カバー工法） A=1,153 m²
- ・スライダープール改修工 A=25.4 m² 他

◇能美市根上ふれあいプール改修工事（設備）

- ・ボイラー交換 N=1基
- ・膨張タンク交換 N=2基
- ・自動制御設備改修 N=一式
- ・既存設備撤去 N=一式

◇根上ソフトボール場簡易防球ネット設置工事

- ・簡易防球ネット設置 N=1式

◇すば一く寺井外構改修工事

- ・土羽整形 A = 132.2 m²
- ・ヒメイワダレ草植栽 N = 529 株

◇能美市物見山テニスコート夜間照明改修工事

- ・夜間照明設備据付 N = 15 基
- ・既存夜間照明設備撤去 N = 15 基

◇物見山運動公園展望台手すり改修工事

- ・既設木製手摺撤去 L = 34m
- ・プラ擬木手摺新設 L = 34m

◇物見山陸上競技場管理棟外壁改修工事

- ・躯体補修工 N = 一式
- ・外壁補修工 A = 1,409 m²
- ・塗装工 N = 一式
- ・金属製建具改修工 N = 1 箇所

◇物見山野球場シーケンサー改修工事

- ・シーケンサー交換 N = 一式
- ・ラダープログラム修正 N = 一式
- ・天井パネル張替え工 N = 30 枚

◇岩内体育館火災報知設備改修工事

- ・自動火災報知設備改修 N = 1 面

◇その他 全 28 件の工事实施

◎改修工事費総額 58,407 千円

評価

能美市根上ふれあいプールは経年劣化により雨漏りのあった屋根を改修，また建設以来使用していたボイラーの交換，自動制御設備の改修により効率的な運用が可能となり，燃料費の削減が見込まれます。

物見山テニスコートの夜間照明は経年劣化により照明器具の錆付きが見られ，落下の恐れがあったことから，照明器具の交換を行いました。

物見山陸上競技場の外壁は多数のクラックや鉄筋の錆が見られ，外壁の剥離・落下の恐れがあったことから，改修し利用者の安全に配慮しました。

市内各施設は設置後 20 年以上の施設がほとんどであり，各施設において経年劣化による破損修繕及び改修が必要となっており随時計画的に修理していく必要があります。

また、体育館の耐震改修工事や東日本大震災以降問題となっている非構造部材（吊天井や天井照明等）の補強工事も計画的に進めており、施設利用者が安全で快適に利用できる施設整備を図っています。

○意見

周知のように、公の施設は、設置から廃止までの間は「管理」されなければなりません。改修、撤去、整備などが必要に応じてなされなければなりません。そのことにより利用者の利便性を図ったり、安全確保の水準を向上させたり、効率的な運営が可能となったりするなどの効果が期待されますので、今後ともスポーツに親しむことのできる施設設備の整備、備品の近代化にご配慮されますことを期待します。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1 教育委員会会議

14回開催（開催日及び審議決定事項 次頁）

{ 議案 31件 }

2 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

月 日	内 容
H25. 4. 1	事務局職員辞令伝達式
H25. 4. 5	市内小学校・中学校入学式
H25. 4. 8	第5回市教育委員会会議
H25. 4. 6	転入教職員辞令交付式並びに着任式
H25. 4. 13	ジュニアスポーツクラブ結団式
H25. 4. 14	菜の花フェスタ
H25. 4. 23	青少年問題協議会
H25. 4. 25	市体育協会総会
H25. 4. 26	石川縣市町教育委員会連合会理事会（金沢市）
H25. 5. 1	「熱狂の日」音楽祭 2013in 能美
H25. 5. 10	石川縣市町教育委員会連合会定期総会（金沢市）
H25. 5. 10	第6回市教育委員会会議
H25. 5. 18	文化講演会 東京大学教授 浅井 祥仁氏 J A I S T教授 西本 一志氏
H25. 5. 25	能美中学校陸上競技大会
H25. 5. 26	スポーツフェスティバル in ねあがり
H25. 5. 27	第7回市教育委員会会議

H25. 5. 31	第9回市民体育大会総合開会式
H25. 6. 3	第2回市議会定例会
H25. 6. 5	粟生小学校計画訪問
H25. 6. 9	第56回全国銃剣道能美大会 第5回能美市民綱引き大会
H25. 6. 10	寺井中学校計画訪問
H25. 6. 12	寺井小学校計画訪問
	第2回市議会定例会
H25. 6. 13	第2回市議会定例会
H25. 6. 17	福岡小学校計画訪問
H25. 6. 18	辰口中央小学校計画訪問
H25. 6. 20	根上中学校計画訪問
H25. 6. 21	第2回市議会定例会
H25. 7. 6	湯屋窯跡現地説明会
H25. 7. 6～12	シェレホフ市少年親善使節団受入
H25. 7. 8	シェレホフ市少年親善使節団市表敬訪問
H25. 7. 10	辰口中学校計画訪問
	第8回市教育委員会会議
H25. 7. 13	NHK学園能美川柳大会・市民川柳大会
H25. 7. 20	根上グリーンビーチ海開き（安全祈願祭）
H25. 7. 20	石川県市町教育委員会セミナー（金沢市）
H25. 7. 24～27	寺井中学校韓国大徳中学校少年親善使節団受入（寺井中学校姉妹校）
H25. 7. 29～8. 7	能美市少年親善使節団ロシア連邦シェレホフ市派遣
H25. 7. 30	学校教育懇談（浜小学校・湯野小学校）
H25. 7. 31	学校教育懇談（寺井小学校・根上中学校）
H25. 8. 5	学校教育懇談（辰口中央小学校・粟生小学校）
H25. 8. 10・11	第65回県民体育大会夏季大会（加賀市主会場）
H25. 8. 12	学校教育懇談（宮竹小学校・辰口中学校・寺井中学校）
H25. 8. 18～21	根上中学校少年親善使節団韓国培材中学校派遣（根上中学校姉妹校）
H25. 8. 19	学校教育懇談（福岡小学校・和気小学校）
H25. 8. 22	第9回市教育委員会会議
H25. 8. 26	第3回市議会定例会
H25. 8. 31	第32回加賀地区中学生意見発表大会（主催）
H25. 9. 2～6	あいさつ強化週間
H25. 9. 4	第3回市議会定例会
H25. 9. 5	第3回市議会定例会

H25. 9. 5	第2回県教委連理事会（金沢市）
H25. 9. 20	第3回市議会定例会
H25. 9. 21～10. 27	能美市立博物館秋季特別展示 「刻まれた古代能美の文字と絵画－発見！日本最古の文字須恵器－」
H25. 9. 23	能美のまほろば 秋常山古墳まつり
H25. 9. 24	第10回市教育委員会会議
H25. 10. 7	NOMI りんぐ授業公開（和気小学校・湯野小学校・根上中学校）
H25. 10. 16	和気小学校計画訪問
H25. 10. 17	湯野小学校計画訪問
H25. 10. 18	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（かほく市）
H25. 10. 21	第11回市教育委員会会議
H25. 10. 27	第8回市小学校対抗サッカー大会
H25. 10. 28	能美市総合文化祭（ジュニア文化発表会）
H25. 10. 29	宮竹小学校計画訪問
H25. 10. 30	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（加賀市）
H25. 11. 2～4	能美市総合文化祭
H25. 11. 14～18	第6回子どもマイスターウィーク
H25. 11. 16	第6回子どもマイスター賞表彰式
H25. 11. 17	市ジュニアスポーツクラブ交流大会
H25. 11. 21	第12回市教育委員会会議
H25. 11. 22	12か条推進校研究発表会（寺井中学校）
H25. 11. 25	浜小学校計画訪問
H25. 11. 27	いしかわ道徳教育推進事業授業公開（福岡小学校）
H25. 11. 29	12か条推進校研究発表会（辰口中央小学校）
H25. 12. 2	第4回市議会定例会
H25. 12. 11	第4回市議会定例会
H25. 12. 12	第4回市議会定例会
H25. 12. 20	第4回市議会定例会
H25. 12. 25	第13回教育委員会会議
H26. 1. 12	成人式
H26. 1. 23	NOMI バンブー授業公開（浜小学校・栗生小学校・辰口中学校）
H26. 1. 30	第1回市教育委員会会議
H26. 2. 14	立志式
H26. 2. 18	第2回市教育委員会会議
H26. 2. 21	市体育協会表彰授与式
H26. 2. 23	能美まなびフェスタ 2014

H26. 2. 28	第1回能美市議会定例会
H26. 3. 11	第1回能美市議会定例会
H26. 3. 12	第1回能美市議会定例会
	第3回教育委員会会議
H26. 3. 13	市内中学校卒業式
H26. 3. 16	第38回全日本競歩能美大会
H26. 3. 18	市内小学校卒業式
H26. 3. 19	第4回教育委員会会議
H26. 3. 24	第1回能美市議会定例会
H26. 3. 27	第5回市教育委員会会議
	教職員離任式

3 平成25年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
平成25年第5回 (H25. 4. 8)	<p>議案第9号 能美市育英資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第10号 能美市社会教育委員の選任について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能美市教育行政の基本方針について ・教育委員会事務局各課事務分担について
平成25年第6回 (H25. 5. 7)	<p>議案第11号 平成25年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>議案第12号 能美市文化財保護審議会委員の選任について</p> <p>報告第1号 能美市博物館協議会委員の選任の報告について</p> <p>報告第2号 能美市図書館協議会委員の選任の報告について</p> <p>報告第3号 能美市立辰口学校給食センター運営委員の選任の報告について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度フォローアップスクールについて ・文化講演会 東京大学教授 浅井祥仁氏 JAIST教授 西本一志氏 ・スポーツフェスティバル in ねあがりについて
平成25年第7回 (H25. 5. 27)	<p>議案第13号 平成25年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p>

	<p>議案第 14 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度能美市姉妹都市交流事業について ・学校計画訪問及び学校教育懇談について ・第 9 回市総合体育大会総合開会式について ・第 56 回全国銃剣道能美大会について
<p>平成 25 年第 8 回 (H25. 7.10)</p>	<p>議案第 15 号 能美市根上総合文化会館管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 16 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度能美市姉妹都市交流事業について ・平成 25 年度能美市姉妹校交流事業概要について ・平成 25 年度石川県中学校総合体育大会参加校及び試合日程について ・北信越総合体育大会、吹奏楽各種大会について ・第 32 回加賀地区中生意見発表大会について ・根上グリーンビーチ海開きについて ・東レアローズバレーボール教室について ・第 65 回県民体育大会選手結団式について ・第 65 回石川県民体育大会夏季大会について
<p>平成 25 年第 9 回 (H25. 8.22)</p>	<p>議案第 17 号 平成 25 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 18 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校運動会日程について ・北信越総合体育大会及び全国大会結果について ・計画訪問について ・のみのまほろば 秋常山古墳まつり 2013 について ・石川県民体育大会夏季大会の成績並びに能美市選手団解団式について

	<p>【教育委員からの意見・提言】 不登校児童・生徒の把握状況及びきめ細やかな学習サポート対応の継続を希望。</p>
<p>平成 25 年第 10 回 (H25. 9. 24)</p>	<p>議案第 19 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川縣市町教育委員会連合会研究大会について ・加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について ・NOMI りんぐ（能美市授業研究会）について ・加賀地区中生意見発表大会成績について ・名曲たーんとコンサート（室内楽の夕べ） ・スポーツフェスティバル in てらい・たつのくちについて ・寺井地区公民館主催事業について ・能美市総合文化祭について ・日本最古の刻書須恵器確認の報道について ・スポーツ講演会開催結果について ・第 8 回能美市小学校対抗サッカー大会について ・第 68 回国民体育大会出場選手について <p>【教育委員からの意見・提言】 運動会を参観しての感想で保護者の駐車マナーについて注意喚起の必要性</p>
<p>平成 25 年第 11 回 (H25. 10. 21)</p>	<p>議案第 20 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について ・能美中学校新人大会・加賀地区中学校新人大会の結果について ・ほうじゅチャレンジカップ 2013 市小学校対抗サッカー大会について ・加南地区スポーツ推進委員研修会について ・第 11 回市町対抗ふるさと駅伝について ・ジュニア文化発表会について ・寺井地区一周駅伝、ソフトバレーボール大会について

	<p>・能美市総合文化祭, 文化芸能大会・文化協会合同公演会について</p> <p>【教育委員からの意見・提言】 道徳教育推進のため先生方の授業への真摯な取組みの継続を希望。</p>
<p>平成 25 年第 12 回 (H25. 11. 21)</p>	<p>議案第 21 号 平成 25 年度能美市一般会計予算の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 22 号 能美市公民館条例の一部を改正する条例について</p> <p>議案第 23 号 指定管理者の指定について</p> <p>議案第 24 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 回子どもマイスター賞受賞者について ・教育センター改修工事完了後の移転等について ・第 50 回歳末助け合い入札展について ・平成 26 年成人式開催要項について ・名曲たーんとコンサート (楽しいクリスマスガラコンサート) ・オーケストラアンサンブル金沢名曲の調べ inNOM I ・第 11 回市町対抗ふるさと駅伝大会について <p>【教育委員からの意見・提言】 ・子どもマイスター賞の入賞作品が年々洗練されレベルアップした作品が増え子どもたちの成長の跡が見られた。</p>
<p>平成 25 年第 13 回 (H25. 12. 25)</p>	<p>議案第 25 号 能美市ボランティア通訳登録制度に関する要綱について</p> <p>議案第 26 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度能美市教育委員会の点検及び評価報告書 (平成 24 年度事業対象) について ・第 50 回歳末助け合い入札展結果報告について ・平成 26 年立志式及び講演会講師について (石川考古学研究会代表幹事 河村好光氏) ・第 11 回市町対抗ふるさと駅伝成績について ・第 9 回市民スキー大会について

	<p>・わくわくスポーツ講習会について</p> <p>協議事項</p> <p>・全国学力・学習状況調査の結果の公表についての市教委の対応 【教育委員からの意見・提言】</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果公表について県内市町の対応が分れているが、能美市は公表しない方針を明示している。</p> <p>結果を公表したことで教育的効果は望めないと思う。</p> <p>学校間で公表された結果の優劣により差別化につながり、本来の学力向上への取組みが図られないと考える。</p> <p>公表しないけれどもテスト結果は学校が結果を検証し、教員の授業改善に適切に取り組んで指導力向上の成果を望む。</p>
<p>平成 26 年第 1 回 (H26. 1. 30)</p>	<p>議案第 1 号 能美まほろばの里古代体験館設置要綱について</p> <p>議案第 2 号 史跡能美古墳群保存管理計画策定委員会設置要綱について</p> <p>議案第 3 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告第 1 号 能美市立辰口学校給食センター運営委員の選任の報告について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年成人式参加状況について ・平成 26 年立志式、まなびフェスタ 2014 開催要項 ・タント寄席，タント演劇学校第 15 回公演「あきつね」 ・第 38 回能美市耐寒継走選手権大会について ・ジュニアスポーツクラブ 5 年生リーダー研修会 ・第 38 回全日本競歩能美大会について <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <p>ノロウイルス感染により学校給食の中止の臨時措置に伴う影響が大きい。更なる安全衛生面の指導徹底をお願いする。</p>
<p>平成 26 年第 2 回 (H26. 2. 18)</p>	<p>議案第 4 号 平成 26 年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>議案第 5 号 平成 25 年度市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p>

	<p>議案第 6 号 能美市立学校薬剤師の補充の選任について</p> <p>議案第 7 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能美市立小学校・中学校の卒業式について ・第 38 回全日本競歩能美大会について
平成 26 年第 3 回 (H26. 3. 12)	議案第 8 号 能美市立小中学校管理職異動内申について
平成 26 年第 4 回 (H26. 3. 19)	<p>議案第 9 号 教育委員の辞職の同意について</p> <p>選挙第 1 号 能美市教育委員会委員長の選挙について</p> <p>議案第 10 号 能美市教育委員会委員長職務代理者の指定について</p>
平成 26 年第 5 回 (H26. 3. 27)	<p>議案第 11 号 能美市青少年問題協議会規則を廃止する規則について</p> <p>議案第 12 号 能美市根上総合文化会館管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 13 号 平成 25 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能美市立小学校・中学校入学式臨席者について ・第 38 回全日本競歩能美大会成績について ・ピアノコンサート in 能美, 「熱狂の日」音楽祭 2014 in 能美, タント寄席について

評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。多様化する教育ニーズに対応し、市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明していくとともに、能美市教育行政の基本方針である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向け教育の充実・振興に努めています。

〇意見

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律上、およそ教育全般にわたる

職務権限を有する行政委員会であり、定例会や臨時会において決すべき議案も多岐にわたっています。首長から一定程度離れた立場の行政委員会ならではの存在意義を発揮しながら、能美市の教育活動のさらなる活性化、まちとしての能美市の魅力の掘り起こしや発信に資するような教育事業の展開に大きな役割の発揮を期待します。

このたびの自己点検・自己評価報告書を拝見いたしましても、限られた予算をどの事業に何のために配分し、どのような成果が得られる可能性があるか、と言う自己分析、また事業遂行上、改善や見直しの方向についても真摯に向き合おうとする行政意思を感じ取りました。

教育行政による利益の享受者は、児童・生徒、教員、地域住民でなければならず、それはとりもなおさず能美市、県、ひいては国家社会の利益になるものと認識します。

もちろん、漫然と施策を遂行するのではなく、喫緊の課題については優先順位を高く設定して、重点的かつ可及的速やかに予算を配分するなどメリハリのある施策としなければなりません。

自己点検・自己評価をつうじて、地域住民に対する説明責任を果たすとともに、評価結果を新たな施策の推進に活かし、その利益を地域住民が享受できるような仕組みづくりに役立て、今後の能美市における教育全般のより良い発展に寄与するものであることを切に願うものです。